



＼学校外の親子の居場所／

よりどこ

企業・NPO・大学パートナーシップミーティング2023
in 横須賀三浦

自己紹介



せりたえり
芹田枝里 (当事者母)

- ◆よりどこ代表
- ◆歯科医師
- ◆ホームスクール&
ホームエデュケーション
家族会運営



こばやしれな
小林怜奈 (当事者母)

- ◆よりどこ会計
- ◆放課後等デイサービス指導員
- ◆居場所カフェ運営 (2024年1月~)



ひだふみか
肥田史佳 (当事者母)

- ◆よりどこ広報
- ◆web系在宅ワーカー
- ◆元動物看護師



ながせはつみ
長瀬初美 (※共事者)

- ◆「よりどころ」コーディネーター
- ◆市民活動家・元看護師
- ◆思春期保健相談師

※「共事者」とは、「当事者と事を共にする感覚を持ち合わせている人」のことをいいます。
地域活動家の小松理虔さんが、東日本大震災や障害福祉の現場で見出した新しい概念です。

よりどこ

持っている心の荷物をお互いに持ち合えるような
余白のある関係性を育てたら...

自助グループとして2022年5月に設立



活動内容の紹介



【よりどこ親カフェ】

(しゃべり場と情報交換)

日時：第1日曜 13:00~15:00

場所：横須賀周辺のレンタルスペース
カフェ個室など

大人のお話の間、子ども達は
プログラミングや工作を楽しむことも…

【よりどこフィールド】

(海遊び・料理・ゲームなどの体験活動)

日時：第3火曜 11:00~15:00

場所：横須賀周辺の自然豊かな場所や
体育館・調理室・古民家など

親だけ参加も大歓迎



現在、不登校・行き渋り・家にこもりがちなお子さんのいるご家庭・ホームスクーラーなどを中心に
未就学~ハタチくらいのお子さんのいる親子が参加しています。

参加者さんの声

療育や学校以外で
実際に不登校やホームスクールをされている親御さんと
話せる機会がなかったので今回参加することができ良かったです。

親子共々、自然体で過ごせたこと。
初めて会ったけど、何かつながりがあるように
感じました。

初対面でこんなに仲良くなるなんて
思わなかった

「ホームスクール」というキーワードで人が集まり始めた



「ホームエデュケーション」(ホームスクール) 文科省のホームページに載っています



ホームエデュケーションとは…

- 家庭を拠点に、地域の教育資源を活用する学びのかたち
- 不登校というネガティブな見方ではなく、子どもの個性・人格を尊重し、興味や意欲を大切にできる
- 親が子どもの成長に責任を持つので、やり方は家庭によりさまざま
- 方法にとらわれず、学びたいことを自由に学ぶ経験を通し苦手なことに対する学びの可能性を広げることができる

不登校とは



「不登校児童生徒」とは「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義しています。

文部科学省 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より

「学校への行き渋り」や「不登校傾向」の状態とは

- 学校に行っていない状態が年間30日未満
- 学校の校門・保健室・校長室等には行くが、教室には行かない
- 遅刻早退が1か月に5回以上など
- 基本的には教室で過ごし皆と同じことをしているが
心の中では 学校に通いたくない・学校が辛い・嫌だと感じている



「不登校傾向にある子どもの実態調査」 日本財団より



不登校の現状（国・県・市）

2023年11月現在

国

不登校児童生徒**299,048人**

県

不登校児童生徒**20,323人**（神奈川県）

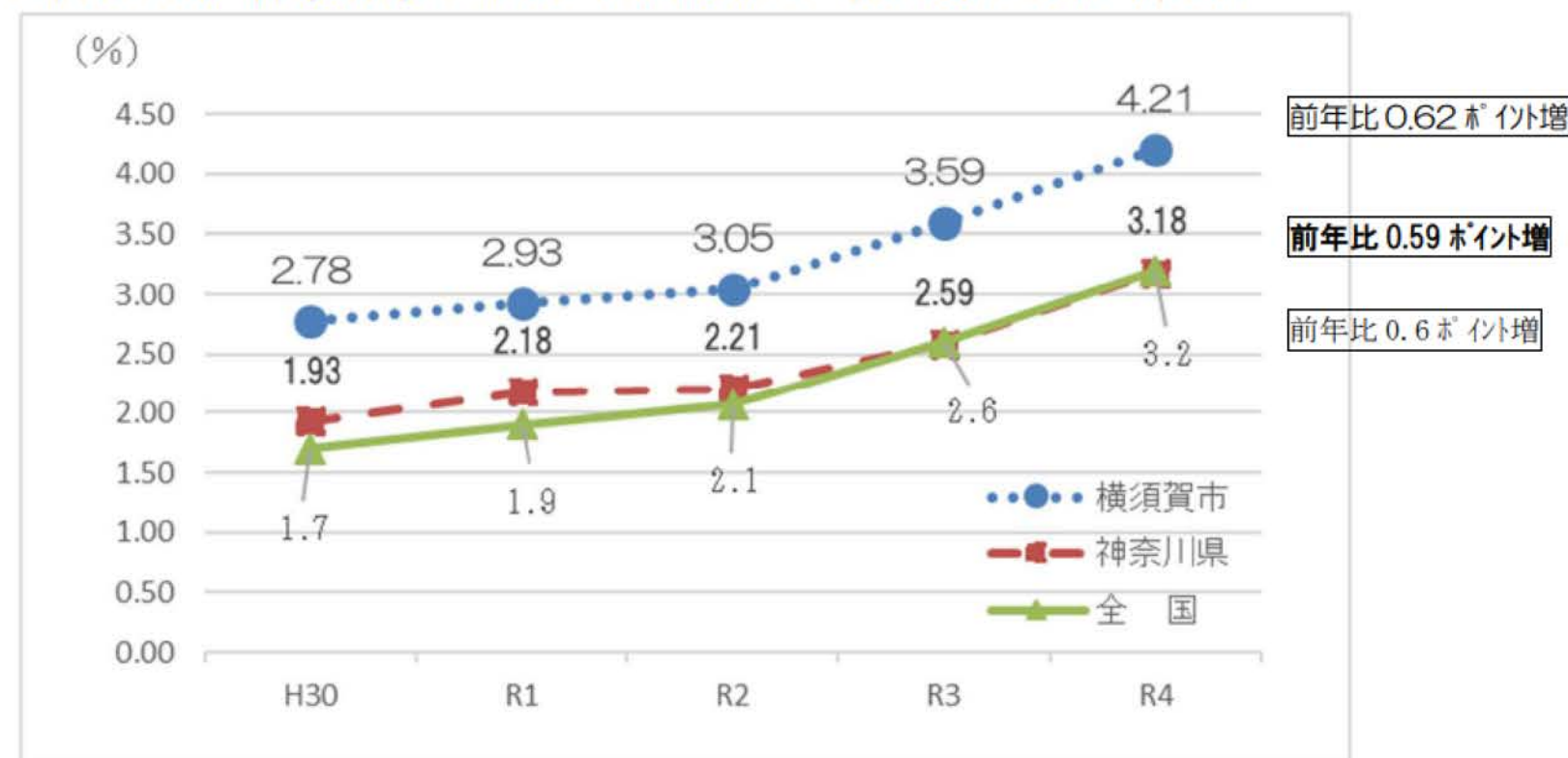
全国平均の1.3倍

市

不登校児童生徒**1,075人**（横須賀市）

小学生 445名
中学生 630名

○横須賀市・神奈川県・全国の不登校児童生徒出現率の経年変化



不登校の現状

全国・県・市いずれも**増加傾向**にある



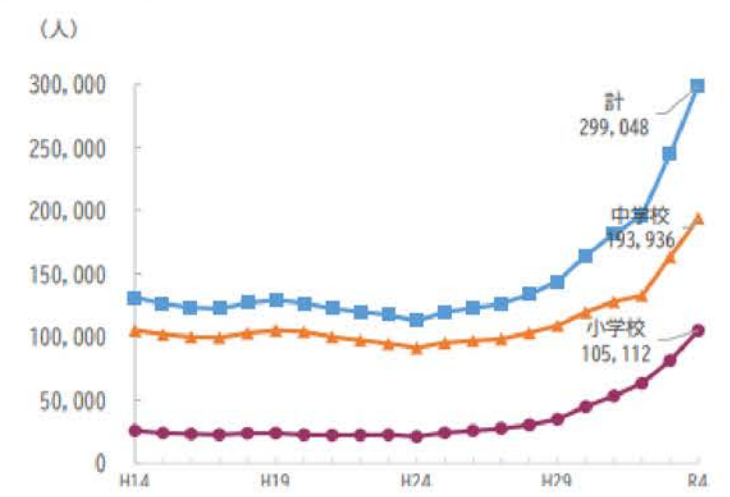
10年連続、増加傾向

小・中学校における不登校の状況について

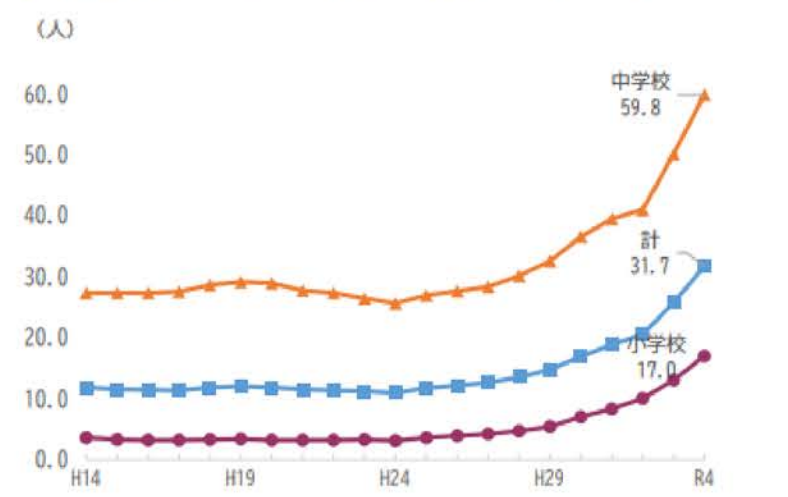
- 小・中学校における長期欠席者のうち、不登校児童生徒数は299,048人(前年度244,940人)であり、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は31.7人(前年度25.7人)。
- 不登校児童生徒数は10年連続で増加し、過去最多となっている。

全国

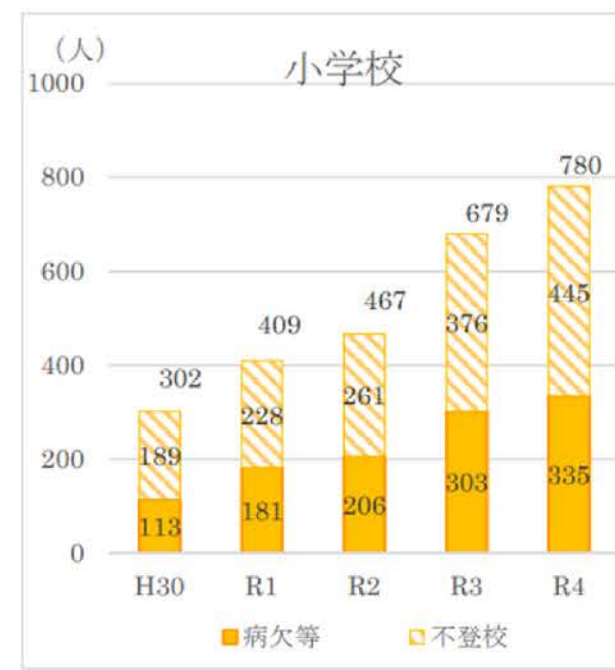
不登校児童生徒数の推移



不登校児童生徒数の推移 (1,000人当たり不登校児童生徒数)



○長期欠席児童生徒数の推移



横須賀市

・小学校において不登校児童の増加が顕著にみられます。

「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」より

「令和4年度横須賀市立小中学校における児童生徒の問題行動・不登校等の状況調査の結果について」より

不登校の子どもに起きていること

休むきっかけ（要因）第一位は無気力…？

学校関係者向けに行われたアンケート

- 1位 無気力・不安（ダントツ）
- 2位 生活リズムの乱れ・他

当事者向けに行われたアンケート

- 1位 身体の不調
- 2位 先生との関係

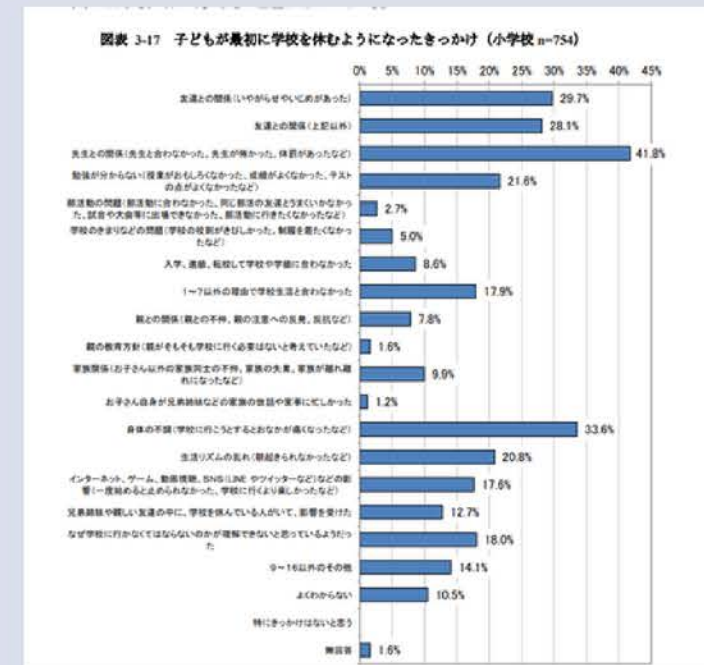
本人に関わる状況	
生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安
3	856
2	549
4	1,322
3	626

(3-5)不登校の要因

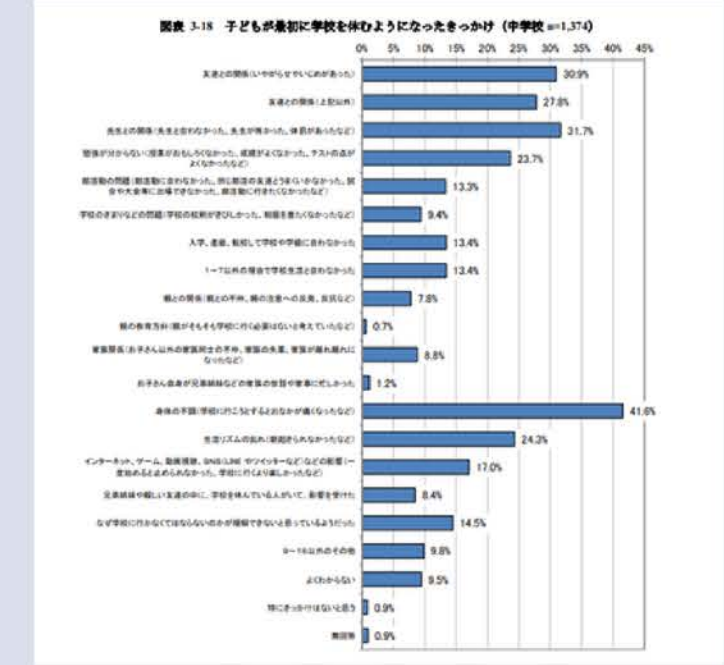
区分	学校に係る状況										家庭に係る状況			本人に関わる状況		左記に該当なし
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不調	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安			
小学校	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	8	534	174	261	16	1	51	165	156	806	113	856	4,287	559	
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	7	327	153	581	31	2	52	70	98	900	132	549	672		
中学校	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	5	1,261	91	652	114	55	90	388	196	497	214	1,322	6,723	728	
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	4	540	78	776	83	43	82	119	127	519	203	626	844		

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。
(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

不登校児童・生徒数	小学校	7,987	中学校	12,336	合計	20,323
-----------	-----	-------	-----	--------	----	--------



小学校



中学校

不登校の子どもに起きていていること



匂いに敏感

音に敏感

誰かが先生に怒られていると
委縮してしまう

眩しく感じる

字が書きにくい

本人にも周りにも
学校が苦手な理由が
わかりにくい

オトナの世界に例えてみると…

目が悪い人が眼鏡を
禁止されてる職場



高所恐怖症の人が
高層ビルで仕事をさせられる

オトナなら…
そんな職場あり得ない
&
違う職場を選べる



子どもには学校以外の
選択肢が与えられていない

不登校の子どもに起きていること

自信を失っていく...

学校外の
親子の居場所
よりどこ

自分は変だな

行けるなら
行きたいのに...

どうして自分には
できないのだろう

学校に行けない自分
はダメなやつ

学校に行かない自分は
どうなってしまうんだろう？



不登校の親に起きていること

ずっと手探り状態

学校を休み始める前

学校を休み始めてから

あれ？
どうした？

仕事どうしよう
かな？

わたしの育て方が
悪かったのか…

学校に行かないとこの子は
どうなってしまうんだろう？

この子のために
なんとか無理やりでも
連れて行かないと…

迷いながら学校に
連れていく

どうしたらいいか
わからなくて焦る…

誰に相談したらいいか
わからなくて焦る

どうして行けないのか？
理由が気になる

仕事を休まなくては
ならず焦る

不登校の親が子どもを休ませようと 決めるタイミング



子どもの身体に
異変が出る

行けなくてゴメンね
自分は悪い子と言う

子どもの命の危険
を感じる

不登校の子どもが自信を失うと…



しっかり
休養をしないと
動き出せない



精神疾患
自死に
つながる恐れ

2016年に成立した「教育機会確保法」で 国の不登校への考え方が変わった！！



第十三条

国及び地方公共団体は、不登校児童生徒が学校以外の場において行う多様で適切な学習活動の重要性に鑑み、個々の不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、当該不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう、当該不登校児童生徒及びその保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。）に対する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うために必要な措置を講ずるものとする。

第六条

国及び地方公共団体は、教育機会の確保等に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。



ポイント

学校以外の場において行う
多様で適切な学習活動の
重要性



ポイント

休養の必要性



ポイント

学校が合わない児童生徒の
家庭やフリースクールへの
経済的支援について言及

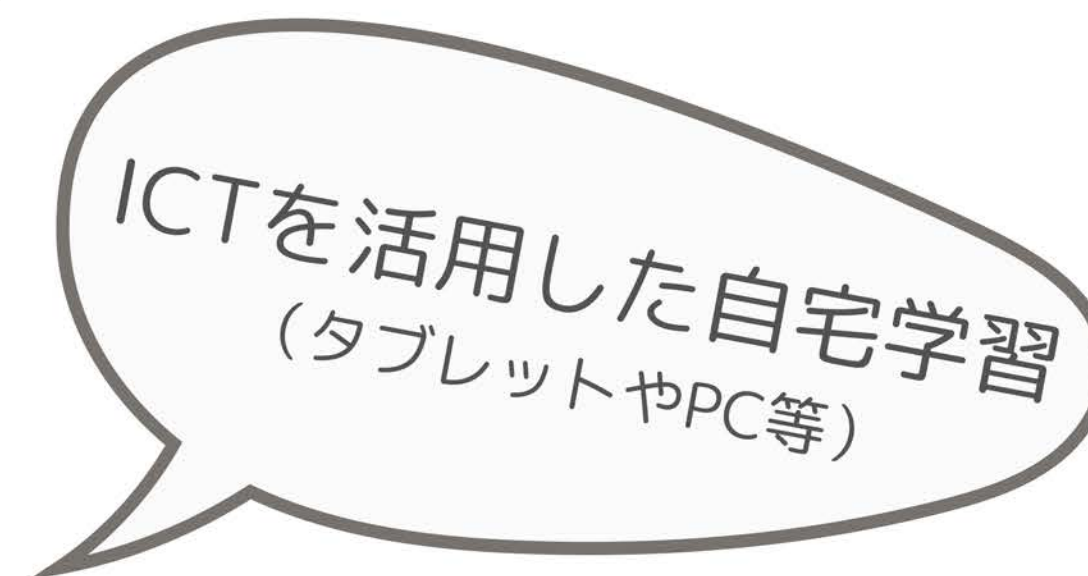


さらに約3年後の…2019年10月25日

「文科省 不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」により

出席日数に関する概念の幅が広がった！！

一条校（国が学校だと認めた施設）に学籍をおきつつ、学校外の公的機関や**フリースクールなどの民間施設**等において相談・指導を受けた日数を、学籍をおいてある学校長が認めた場合に指導要録上出席扱いとすることができる。
また、**ICT等を活用した自宅学習も、学校長が認めれば出席扱いとなる。**



休むことにより取り戻せるもの…

学校外の
親子の居場所
よりどこ

フリースクールや自宅で過ごす（ホームスクール）などによって自分は自分でいいんだ！という感覚を取り戻す。



自分は変では
なかった

苦しいのは
自分ひとり
ではなかった

自分は自分で
いいんだ



よりどこの目的



人とのさまざまな角度のつながりで得られるもの

一緒にいる

不登校家庭の
社会的孤立を防ぎ
「共にいる」ことで
関係性を築く

一緒に学ぶ

必要な情報を交換し
「共に学び合う」

思いを持ち寄る

持ち寄った
「思い」を形にして
社会に還元する

不登校の親子の課題



子

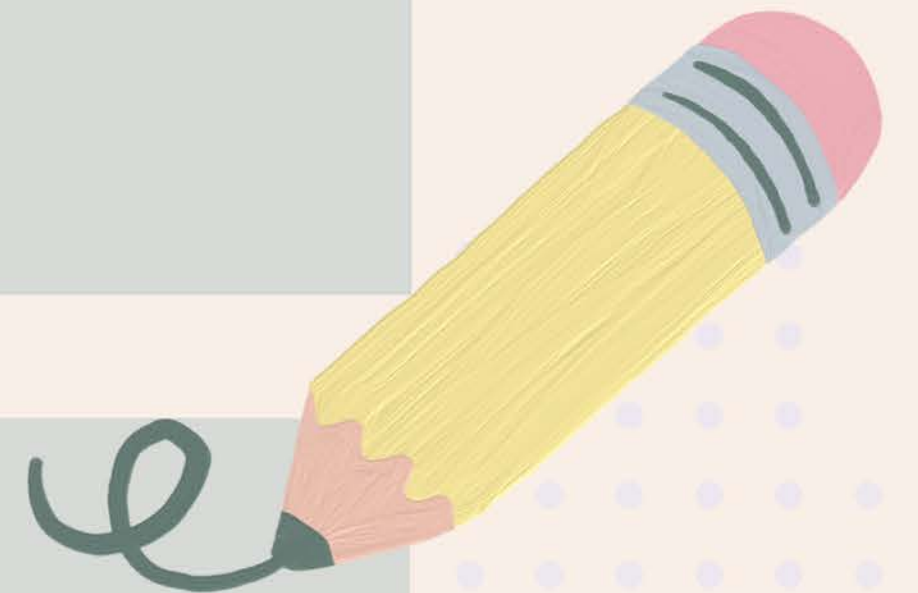
子ども同士での関わりが少ない
家族以外の大人との関わりが少ない
家で体験できることが限られる
(体験格差)

親

情報が少ない
このままでいいのか不安

全体

経済的な負担



よりどころの役割



子

子ども同士での関わりが少ない
家族以外の大人との関わりが少ない
家で体験できることが限られる
(体験格差)

よりどころ
フィールド

親

情報が少ない
このままでいいのか不安

よりどころ
親カフェ

全体

経済的な負担

外部との
連携

よりどこフィールドの活動



海



体育館



調理室



キャンプ場

よりどころ親カフェの活動



相談教室の先生と交流



Yちゃんが得意なマッサージを施術中



子どもが一緒でもOK



参加者さんからの書籍紹介

こんな形の参加もアリです

親カフェ・フィールド以外の活動

学校外の
親子の居場所
よりどこ



横須賀市・三浦市教育委員会と交流



横須賀市長・教育長へ要望書提出



ベースのホームスクーラーさんと交流

市教委主催の「不登校をともに考える会」への登壇

書籍の寄稿

市教委主催の「相談教室保護者の集い」への登壇

居場所まっぷへ製作費の寄付

他の市民団体との共催イベント

私たちが大切にしたいこと

学校外の
親子の居場所
よりどこ



「場」だけでなく「人」が
セーフティネットに
なれるように

「つながりたくない」
きもちも大切に。

みんなが
心地よい距離感で



集まっても、集まらなくてもできる「よりどこ」らしいスタイル「よりどころ」

わたしたちが探しているもの



不登校への理解

子どもが自信を失う
必要がなくなります

寄り添ってくれる人

人から学べることが
たくさんあります

活動場所

安全・安心な場所
とのつながりが貴重です

寄付



子どもにさまざまな体験を
させてあげられます
(体験格差対策)

こんな社会になってほしい

選択肢が増える

学校
フリースクール
ホームスクール
など



安心して選べる

心理的
経済的

あなたは学校行ってるの？

わたしは行ってないよ！

じゃあ、わたしが学校から帰ってきたら
一緒に遊ぼう！！



みんながなにかの当事者・共事者

「ゆるく」「持続的」につながれたら...

当事者として似た境遇の親子が集まるからこそうまれる「居場所感」がある。

共事者が一緒にいることで「保護者がゆっくりできる」「保護者と子どもの適度な距離が持てる」「運営メンバーがいち参加者でいられる」ができる。

共事者の方々とのつながりとしては

- こども料理教室
- 廃棄野菜収穫
- 海遊び
- 田んぼ活動
- お寺でのイベント
- 市内フードバンクさんからの食支援
- 居場所提供のお声かけ など

他にもさまざまなお縁があります。

生きることや、学ぶことについて考え
想いをもち合える

「よりどころ」になればと願っています。

なったらいいな よこすか・みうら

＼学校外の／
親子の居場所
よりどころ



ご清聴ありがとうございました

学校外の
親子の居場所
よりどこ



よりどこ運営メンバーinソレイユ

『よりどこフィールド』

11月

日時：11月21日(火) 11:00~15:00

場所：うみかぜ公園

参加費：大人100円/子ども100円（ひと家族何人でも）

※11月25日時点でのお知らせのため、イベントは終了しています。

今後の予定

「ママと子どものアトリエ陽彩」

親カフェ × 「合同会社Linkuplace」

「こどもわかものリレー」

12月

『おやこの居場所企画』

日時：12月3日(日) 午後(調整中)

場所：横須賀市内 汐入駅付近

参加費：大人100円/子ども100円（ひと家族何人でも）

※11月25日時点でのお知らせのため、イベントは終了しています。



昨年の様子
(VR体験中)